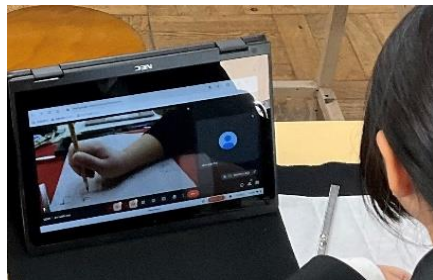




カメラ機能を使って、生徒が自身の運筆している様子を撮影



Google meetを通じて、教員の運筆の様子を配信

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
思考を深める学習

協働学習
発表や話し合い

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom
Google meet
カメラ機能

学習のねらい

『仮名の書』における基本用筆や線質などについて学び、小筆を使った基本的な筆使いを身に付ける。

学習の流れ

導入

『仮名の書』における線質、小筆の持ち方や筆使いにおける注意点などを学び、それらを意識して、仮名の基本線を書く。



展開

- ①教員の運筆の様子を、Google meetを通じて配信された動画で確認し、そこから気付いたことをワークシートに記録する。
- ②Chromebookのカメラ機能を使って、自身の運筆している様子を動画で撮影する。
- ③自身の動画を確認し、気付いたことや改善点などをワークシートに記述する。



まとめ

- ①ペアを組み、自身の動画を見せながら、ワークシートに記述した内容をもとに、気付いたことや改善点などについて共有する。より良い改善策について、ペアの生徒と協働して考える。
- ②改善策を意識して、再度、基本線を書き、その様子を撮影する。
- ③自身の撮影した2回めの動画とワークシートをGoogle Classroomで提出する。



協働して
課題解決する



振り返って
次へつなげる

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

- ・ Google meetを活用することで、教員はカメラを通じて小筆の細やかな筆使いを即時的に生徒に伝えることができた。書画カメラを用いた大型スクリーンへの投影では見えにくい、筆の持ち方や筆圧の調節、筆先の動きなどの細部までをクローズアップして示すことが可能となった。
- ・ 生徒は、自身の運筆している様子を客観的に確認することができたため、自身の筆の構え方や筆圧の調節を振り返り、改善する機会となった。また、細やかで正確な筆使いを理解しやすくなったことにより、生徒の筆を持った時の意識や筆先の動きに対する意識が高くなったことを、作品や提出されたワークシートの記述からも確認することができた。
- ・ 生徒が改善策を意識して運筆している動画をワークシートに記述された内容と照らし合わせながら確認できるため、次の時間でより丁寧な指導に生かすことができた。